

- ① ①から④の意味のことわざを、 から選び、 に書きましょう。

① つらくてもしんぼうして続ければ、成功する。

② 人生では、成功も失敗もある。失敗してもあきらめずに努力せよ。

③ 原因をつくらなければ、結果は生じない。

④ あわてず、確実な方法をとるほうがよい。

負けるが勝ち
まかぬ種は生えぬ
七転び八起き
石の上にも三年
急がば回れ
つめに火をともし

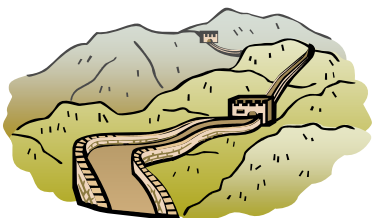
- ② () の中に漢数字を書き入れて、ことわざを完成しましょう。

① () 里の道も () 歩より

② () 寸の虫にも () 分の魂

③ () 聞は () 見にしかず

④ () 兎追う者は、() 兎も得ず



- ③ ①から④までのことわざと、よく似た意味に使われていることわざをA～Dの中から選び、線で結びましょう。

① 弘法にも筆の誤り • A ぬかにくぎ

② 石橋をたたいてわたる • B 三つ子の魂 百まで

③ すずめ百まで踊り忘れず • C さるも木から落ちる

④ のれんに腕押し • D 念には念を入れよ

① ①から④の意味のことわざを、から選び、に書きましょう。

① よいと思ったことは、ためらうことなく実行すべきという意味。

② すらすらと話すことのたとえ。

③ 遠回しすぎて、思うようにならないことのたとえ。

④ 役に立つ物を持っているのに、しまいこんで使わないことのたとえ。

急がば回れ

二階から目薬

立て板に水

石の上にも三年

善は急げ

宝の持ちぐされ

② 線を引いた言葉の対になる言葉を から選び、 の中に書き入れて、ことわざを完成しましょう。

① 多勢に (相手が多数なのに対して少数なので、勝ち目がないこと)

② 負けるが (しいて争わず、勝ちをゆずるのが、結局は勝利をもたらすということ)

③ 急がば (急ぐときは、危ない近道を通るよりも、遠くても安全で確実な道をとったほうが、結局は、早く到着すること)

④ 公然の (かくしているはずが、広く世間に知れ渡ってしまっていること)

ひみつ 少勢 勝ち 無勢 注意 回れ

③ ①から④までのことわざと、よく似た意味に使われていることわざをA～Dの中から選び、線で結びましょう。

① 虻蜂とらず A 弱り目にたたり目

② 鬼に金棒 B 柔よく剛を制す

③ 泣きつ面に蜂 C 虎に翼

④ 柳に雪折れなし D 二兎追う者は、一兎も得ず



慣用句 (かんようぐ) とは



二つ以上の言葉が合わさって特別な意味になる言葉のことを「慣用句 (かんようぐ)」と言います。
慣用句はたくさんあって、それぞれの意味を知っておくことで、表現のはばがひろがりますよ。

慣用句には体の部分を使ったものが、数多くあります。次の□の中にあてはまる字を書き入れましょう。

□ が軽い

* 言うてはいけないことを言うてしまったこと

□ から火が出る

* 頭を強くぶつけたときなどに受ける感覚のこと

□ をなでおろす

* 安心しほつとするようす。

□ がぼつになる

* 歩き続けたりして、足がひどくつかれること

□ の荷がおりる

* 責任 (せきにん) を果たして楽な気分になること

□ が切れる

* 頭の回転が速く、てきぱきと事を行うこと

□ をつつこむ

* 仲間に加わったり、その事に関係すること

目 □ 肩 (かた) 頭 首 足 手 耳 胸 (むね)

頭

頭がいたい

頭がかたい

頭が下がる

頭に入れる

頭に血がのぼる

頭をかかえる

頭を上げる

頭を冷やす

頭に来る

鼻

鼻が利く

鼻が曲がる

鼻息があらう

鼻が高い

鼻を持たず

目

目が利く

目がさえる

目を落とす

目頭をおさえる

目が肥える

目をうたがう

目をおおう

耳

耳がいたい

耳をうたがう

耳をすます

耳がはい

耳をかす

聞き耳をたてる

口

口がうまい

口が軽い

口をすべらせる

口が重い

口がこえる

口を出す

体の部分を使った慣用句はまだまだあるよ。どれくらい分かるかな。(顔編)



慣用句(かんようく)とは



二つ以上の言葉が合わさって特別な意味になる言葉のことを「慣用句(かんようく)」と言います。
慣用句はたくさんあって、それぞれの意味を知っておくことで、表現の幅がひろがりますよ。

【1】①～⑤の慣用句はどんな意味でしょう。()の中に記号を書きましよう。

- | | |
|------------|---------------------------|
| ① うり二つ () | ア 仕事の中などで、むだ話をしてなまけること |
| ② 馬が合う () | イ お互いの性格や話が合うこと |
| ③ 顔が広い () | ウ 顔かたちが見分けのつかないほどよくにていること |
| ④ 油を売る () | エ 知り合いが多いこと |
| ⑤ 息をのむ () | オ おどろいて、息を止めること |

【2】次の文に前の問題の慣用句をあてはめます。

【1】の①～⑤の番号を()に書きましよう。

- ◆ 会えばケンカばかりのぼくとケンちゃんだけど、ゲームのことでは()。
- ◆ 富士山の頂上から見た景色は、()ほど美しかった。
- ◆ うちのおばあちゃんとお母さんは()で、口ぐせも同じだ。
- ◆ 【3】次の()に数字が入り、慣用句として使われます。あてはまる漢数字を書きましよう。

- ◆ () () か () () か
- ◆ * 運を天にまかせて思い切つてやるときに使う言葉 () () も承知
- ◆ * 言われるまでもなく分かっているときに使う言葉 () () びようしそろった
- ◆ * すべての条件がそろつこと () () 巻の終わり

* 物事の決着がついて、もう終わりになってしまったこと

慣用句では本来の言葉の意味が変わったり、

特定の組み合わせで言葉が使われたりします。では、慣用句を知っておくよさは何でしょう。次の例を見てください。

* 昨日のサガン鳥栖の試合は最後まで緊張する展開でした。

* 昨日のサガン鳥栖の試合は最後まで手に汗にぎる展開でした。

このように、慣用句を使うことで、自分が伝えたい気持ちや様子を簡潔に表現することができます。

動物や植物が入った慣用句

- | | |
|-------------|---------------|
| ・ 馬が合う | ・ うり二つ |
| ・ きつねにつままれる | ・ 根にもつ |
| ・ 犬の遠ぼえ | ・ うどの大木(たいぼく) |
| ・ 虫の居所が悪い | ・ 根も葉もない など |



数字を使った慣用句

- | | |
|----------|------------|
| ・ 一か八か | ・ 一事が万事 |
| ・ 一卷の終わり | ・ 一糸乱れず |
| ・ 二足のわらじ | ・ 二の句をつげない |
| ・ 三拍子そろつ | ・ 十指に余る |
| ・ 百も承知 | などなど |

たくさんある慣用句ですが、少しずつ覚えていって、どんどん使っていきましようね。